

認定権者記載欄


様式第 5 - (ハ) - ①

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定による認定申請書 (ハ-①)

令和 年 月 日

大阪府和泉市長 あて

事業所所在地 \_\_\_\_\_  
 申請者 \_\_\_\_\_  
 氏 名 \_\_\_\_\_ 印  
 Tel \_\_\_\_\_

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、(注 2) \_\_\_\_\_ の増加が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

(表)


※表には営んでいる事業が属する業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) を全て記載 (当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近 1 年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

2 月平均売上高営業利益率

$$\frac{B - A}{B} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

A : 申込時点における最近 3 か月間の月平均売上高営業利益率  
 ( 年 月 ~ 年 月) \_\_\_\_\_ % (注 3)

B : A の期間に対応する前年の 3 か月間の月平均売上高営業利益率  
 ( 年 月 ~ 年 月) \_\_\_\_\_ % (注 3)

第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間 :

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者 和泉市長 辻 宏 康 印

(注 1) 本様式は、1 つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合は、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注 2) \_\_\_\_\_ の増加には、外的要因及び増加している費用を入れる。

(注 3) 企業全体の月平均売上高営業利益率を記載。

(留意事項)

② 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村又は特別区長から認定を受けた日から 30 日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

## 中小企業信用保険法第2条第5項第5号（ハ-①）認定申請内訳書

本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、  
又は営んでいる複数の事業がすべて指定業種に属する場合に使用する。

### 事業が属する業種毎の最近1年間売上高

産業区分番号(*1)	業 種 名(*1)	最近の売上高	構 成 比
		円	%
		円	%
		円	%
		円	%
全 体 の 売 上		円	100%

産業区分番号、業種名欄には、営んでいる事業が属する全ての業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。

細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。

指定業種の売上高を合算して記載することも可

\* 1 : 産業区分番号、業種名欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

#### 最近3か月間の月平均売上高営業利益率【A】

企業全体の最近3か月間の月平均売上高営業利益率	%
-------------------------	---

#### 最近3か月間の前年同期の月平均売上高営業利益率【B】

企業全体の最近3か月間の前年同期の月平均売上高営業利益率	%
------------------------------	---

$$\frac{(B-A)}{(B)} \times 100 = \% \\ \text{円} \quad \text{円}$$

(注) 認定申請にあたっては、営んでいる事業が全て指定業種に属することが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、上記の売上高営業利益率が分かる書類等（例えば、試算表など）の提出が必要

中小企業信用保険法第2条第5項第5号に基づく国指定業種等についての売上高について、  
上記の通りで相違ございません。

和泉市長宛て

令和 年 月 日

事業所所在地  
申請者  
氏名

印